

ブラジル  
アマパ・イニシアティブ

現地からのお便り

2017年8月  
コンサベーション・インターナショナル

地域の広報ネットワークの支援と保護地域の管理

保護地域における観光産業に関するワークショップ

4月17～20日に、地元のボムスセソ協会が、アマゾナス州マナウス市で開かれた保護地域における観光産業についてのワークショップに参加しました。アマパ国有林では、地元の人々が、コミュニティによる観光産業の開発に関心を持っていることから、このワークショップは、彼らがアマゾンでの観光事業の成功体験について知るとてもよい機会になりました。

このイベントは、コミュニティの人々が、アマパ国有林でコパイバオイルやアンディローバオイルといった非木材林産物を使って作った植物由来の化粧品(バイオ化粧品)を紹介する重要な場にもなりました。



アマゾニア州マナウス市で行われた保護地域における観光産業についてのワークショップに参加するボムスセソ協会のメンバー(写真:ICBio/Ivan Vasconcelos)

多様な目的を満たす森林の管理とアグロエコロジープログラムの支援

社会組織の能力向上

5月2～4日に、アラグアリ川のほとりにあるボムスセソ協会に対して、社会組織の能力向上に関するワークショップを開催しました。

このイベントは、ボムスセソ協会の強化を主目的として、コミュニティから25名が参加して行われました。そのため、講師たちは、コミュニティのリーダーシップ、コミュニティによる効果的なコミュニケーション、コミュニティによる共同管理といった内容について話をしました。ワークショップの計画段階から、コミュニティの人々が、コミュニティの社会組織の改善に合ったテーマを見つける手助けをするなどして参加していたことを、特にお知らせしたいと思います。



社会組織の能力向上についてのワークショップの参加者たち(写真:CI-Brazil/ Josine Garcia)

### ボムスセソ協会の戦略計画作り

6月に、CI ブラジル及びアマパ州政府の技術者と協力して、ボムスセソ協会の次の5年間の戦略計画作りが行われました。計画作りは、コミュニティの様々な人々の希望を考慮して進められました。そのため、それらの情報についての話し合いと、詳細な計画作りのために、二度の会合を開く必要がありました。



ボムスセソ協会の戦略計画を詰めるための第1回会合の様子(写真:CI-Brazil/ Josine Garcia)

計画作りの際に、講師は、科学に基づく現実主義と伝統知識に基づく直感を用いる、「ドラゴン・ドリーミング」と呼ばれる手法を使いました。このプロセスは、夢想、計画、実行、称賛、という4つのステップの下で行われました。

この活動は、アマパ国有林とアマパ州有林のコミュニティを社会的に強固にする戦略を作り、アマパ州保護地域の管理へのコミュニティの参加を増やすのに役立ちます。

### 「コミュニティによるエコツーリズム」の研修

4月と5月の間に、アマパ州職業教育センター(CEPA)と連携して、アマパ国有林とアマパ州有林における「コミュニティによるエコツーリズム」の研修の、最後の2回のモジュールが実施されました。そこには、ボムスセソ協会から20名が参加しました。

この研修の主な目的は、アマパ国有林とアマパ州有林を囲むアラグアリ川の地域に、コミュニティによるエコツーリズムを立ち上げるための、コミュニティの能力向上に貢献することでした。



アマパ国有林とアマパ州有林における「コミュニティによるエコツーリズム」の研修の最終回  
(写真: Association Bom Sucesso/Sueli Leite)

#### 木材の角切りについての研修(持続可能な木材の切り出し)

この4月、アマパ森林研究所は CI ブラジルと連携して、アマパ国有林とアマパ州有林の周りに住むコミュニティでのセラドナビオ開拓地プロジェクトの13名に対して、木材の角切り(持続可能な木材の切り出し)に関する研修の第3回目を行いました。



セラドナビオ開拓地プロジェクトにおける木材の角切り(切り出し)についての研修の様子  
(写真: IEF/Sandro Carvalho)

この研修の目的は、コミュニティの効果的な参加を得て、アマパ国有林内での持続可能な木材の切り出しに貢献することです。このようにして、受益者であるコミュニティは、より透明性が高くきちんと指導された形で、そして将来的には企業との契約で定められた条件通りに、伐採プロセスを進めていくことができます。

#### 自生種の苗木作りに関する研修ーアグロエコロジー

6月には、アマパ森林研究所は CI ブラジルと連携して、アラグアリ川コミュニティ(ボムスセソ)の15名に対して、自生種の苗木作り(森及び果樹)に関する研修を行いました。

このコースでは、質の高い種子や苗木、生育の早い産品を使った、農業生態学的にバランスの取れた裏庭作りと、ボムスセソ・コミュニティの食料安全保障の実現を目指しました。

### コパイバの優れた管理方法に関する研修

6月26～28日に、アマパ研究所(IEPA)は、CI ブラジルと一緒に、ボムスセソ・コミュニティの12名に対して、コパイバの優れた管理方法に関する研修を行いました。

このコースは、アマパ国有林とアマパ州有林において、非木材林産物がよりよく管理されることに貢献し、アマパ州の保護地域で持続可能な形でバイオ化粧品を作るための戦略をより強固なものにします。



コパイバの管理のベストプラクティスに関する研修の様子  
(写真: Association Bom Sucesso/ Elma Marques)

### アグロフォーレストリーの方法についてのグッドプラクティスに関する研修

6月に、アマパ森林研究所はCI ブラジルと連携して、アマパ国有林とアマパ州有林にあるセラドナビオ開拓地プロジェクトの30名に対して、アグロフォーレストリーの方法のグッドプラクティスに関する研修を行いました。このコースの主な目的は、空き地のよりよい活用方法と、有機肥料の製造と使用、土壌の上手な使い方等に関する技術を伝えることでした。



アグロフォーレストリーの方法のグッドプラクティスに関する研修(写真: IEF/ Simone Araujo)

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。